

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本 (前年比)	千本 (前年比)					
バラ	群馬	施設	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	12.2 (95%)	938 (100%)	656 (100%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	生育は順調であり平年並みの出荷を見込む。猛暑であった昨年と比べ気温が低く経過しているため、品質の低下(ポリウムの減少等)は少ない。病害虫による被害はない。
	茨城	施設	アマダ, アバラ ンチェ, サムラ イほか	周年	8	270	656	35	30	35	古河市、石岡市 他	産地によりカビやうどんこ病が見られる。
	静岡	施設	サムライ オール4ラブ シンディ ベイブ	周年 10-12 3-5月	43 (97%)	500 (95%)	400 (95%)	35	20	45	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲	長期に渡る曇雨天により、一部産地・生産者で品質低下がみられ、相場低迷もあり出荷調整を実施した。改植は終盤で、新品種は8月以降に出始める見込み。7月は7-50cm中心、8月以降は6-50cm中心の階級発生。夜間冷房を実施する産地は、SP品種等でも70cmクラスの出荷が見込まれる。8/10-20は盆休みを取る産地が多く、出荷量は減少する。
	愛知	周年	サムライ08 アヴァランチェ系 ゴールドラッシュ フレア 他	4-3月		2,250 (96%)	1200 (100%)	35	30	35	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	・8月全体の出荷量は前年並みの予想。旧盆前後で出荷休みを取る産地・生産者がいるため中旬は出荷量がやや少なくなる。 ・現状、低温の影響により例年に比べ下位階級の発生率が低くなっているが、梅雨明け後の天候に8月の階級発生割合は左右される。
ロア メル リスト アト	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アロン レモネード	周年 (5・10月)		1,187 (103%)	4,503 (97%)	40	30	30	岩見沢市 JAいわみざわ	例年暑さによりこの時期は出荷量が少ない状況。
トル コ ギ キ ヨ ウ	北海道	促成~	ハピネスホワイト	5~11月		2,188	3,632	10	30	60	由仁町 JAそらち南	夜温は低いものの日照時間が多く日中の温度も、そこそこある為生育は順調である。
			ロベラブルーフラッシュ					25	45	30		
			マキアホワイト モンロー	8~9月		(100%)	(112%)	30	40	30		
	山形	加温・ 無加 温・ シェ ード・ 加 温	ポヤージュ、レ イナ、ロジー ナ、他白八重、 ピンク八重、一 重、他	6月~11月 (7月~10月)		1,000 (100%)	700 (100%)	30	30	40	JA庄内たがわ、 JA鶴岡、JAおい しいもがみ、JA 新庄市、JAあま るめ、JAやまが た、JA山形市	・8月出しの生育は、平年並みの見込み ・品質は良好であり、病害虫の発生はほとんどなく経過している。
				茨城	施設	レイナ、ロジー ナ他	周年 (6~7月)	7	30	16	40	30
	群馬	施設 (季咲 き)	ロジーナ ポヤージュ バルカン 他	周年 (6~11月)	6.2 (100%)	168 (100%)	151 (100%)	20	40	40	昭和村 沼田市 富岡市	生育は順調であり、出荷時期・出荷量ともに平年並みを見込む。病害虫による被害はない。
千葉	施設		4~8月 (6月) 10~12月 (11月)	7.2 (100%)	460 (100%)	345 (100%)	80	15	5	館山市、鴨川 市、南房総市(丸 山、千倉)	①生育は順調で切り花品質も良好。 ②ポヤージュシリーズが中心。 ③8月上旬でほぼ終了。	
長野	夏秋	レイナ系 ハピネスW コレゾ系 クラリスP	7月~9月 (8月上)	4.7 (97%)	2,600 (104%)	885 (101%)	40	30	30	諏訪 北佐久 松本 伊那	曇天の影響がもっとも深刻な品目。昨年に比べると約1週遅れの傾向。灰カビも出ている。軟弱傾向。	

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

令和元年7月31日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬		
						千本 (前年比)	千本 (前年比)					
りんどう	秋田	露地	しなの系 秋田系 ホワイトベル	5月-11月 (7-9月)	4219 (98%)	4,325 (100%)		70	20	10	秋田おぼこ 秋田しんせい あきた白神	超極早生・極早生は干ばつと低温の影響で出荷進度がやや遅れた。盆向けについては個人差があるものの平年並み～やや遅れ気味の出荷を見込む。
	山形	露地	ながの2号、し なの早生・2 号、他	7月~11月 (8~10月)		1,200 (102%)	800 (102%)	40	30	30	JAやまがた、JAさ がえ西村山、JAお いしいもがみ、JA 山形おきたま	・生育は若干遅れ気味である。 ・8月上旬が出荷のピークとなる見込み。 ・品質は良好であり、病害虫の発生は少ない。
	福島	露地	夏のきらめき 他	7~11月 (7~9月)	4.6 (101%)	1,050		50	25	25	JA会津よつば 他	極早生品種は、6月下旬から出荷開始。早生品種は、降雨が続いたため、草丈は平年以上となっている。病害虫は、降雨が続いたため黒斑病の発生が見られ、アザミウマ類やリンドウホソハマキの被害が散見される状況。旧盆に向けての出荷。

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

令和元年7月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	気温が低いと、各産地ともに安定した品質。高冷地産は順調に出荷されたが、数量は前年より減少、相場は回復。7月三連休に引き合い強かった。曇天、長雨の影響から各産地(愛知、山形、群馬)品質低下。また、品質に対する心配から利用が敬遠され、販売は苦戦ぎみ。ただ、輸入が少ないため引き合いはある。	
	見通し	大田花き	エクアドル、ケニア産の入荷が再開し、大輪系が出揃う。国産は旧盆時期に休みに入る産地が多く、入荷は少なめ。気温次第だが後半から引き合い強まる。
		FAJ	数量減だが需要期ではないため中値安定。
		第一花き	愛知産は減少、山形産は例年並みで、全体的には入荷量減少。
		世田谷花き	高冷地中心の販売。花頭大きく、ステムの長いものは引き合いが強い。単価、数量は昨年並み。
		東日本板橋花き	猛暑の場合、小売販売は鈍い。
東京フラワーポート	STは前年並み。SPは新植の出荷が始まり増加傾向だが、丈の長いものは少ない。		
アルストロメリア	現状	天候の影響で数量が減少。業務需要中心の動きで白・ピンク・紫は高値で販売、堅調な動き。中旬以降は北海道産が増加し、やや落ち着いた相場展開。山形、長野、北海道産が中心。数量、金額ともに安定した販売。	
	見通し	大田花き	北海道は安定した出荷。愛知・長野では赤・オレンジ・ピンク等に焼けが出て減少が見込まれているため不足感が出る(北海道の作付少ない色目)。葬儀需要で中値継続。
		FAJ	旧盆需要、数量は昨年並み。
		第一花き	山形産減少で、全体的に数量減少。@120~150円
		世田谷花き	業務中心の動き。数量減少。
		東日本板橋花き	愛知、青森、北海道産入荷。昨年並みの数量(天候次第で増減あり)。
東京フラワーポート	各産地、潤沢な入荷。		
トルコギキョウ	現状	千葉、茨城、長野、福島、山形、秋田、北海道産中心。産地によっては曇天・低温の影響で生育遅れ。業務需要中心だが、新盆の小売需要もあり、引き合いは強め。北関東産の2番花が切り上がりが遅れ、高冷地産と重なり厳しい販売状況の市場もあり。	
	見通し	大田花き	長野産は1週間程度遅れ。福島、山形、岩手は生育順調、7月末から増加。
		FAJ	長野、北海道の入荷増。販売状況は横ばい。
		第一花き	福島、山形、千葉産中心の入荷。数量、単価は前年並み。@150~250円
		世田谷花き	北海道、長野、福島産の入荷。天候の回復とともに数量増える。
		東日本板橋花き	千葉産がピークとなり、高冷地産も増加。昨年並み~やや多い。
東京フラワーポート	昨年は前進したが、今年は順調。		

花きの県別生産出荷概況(8月見通し)

令和元年7月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
りんどう	現状	岩手、秋田、栃木産は、出荷始めから新盆需要に極端な増加がなかったため、相場は高く推移。中旬以降、栃木産が減り、山形産が増加し、数量は徐々に増加、相場も安定。	
	見通し	大田花き	旧盆需要で引合い強まり、盆明け後は落ち着く。相場もそれに伴い上下。
		FAJ	旧盆需要、数量は昨年並み。
		第一花き	山形産の入荷あり、お盆需要は潤沢。@85~100円
		世田谷花き	旧盆需要。紫中心に引き合い強い。
		東京フラワーポート	順調(天候次第で増減あり)。